

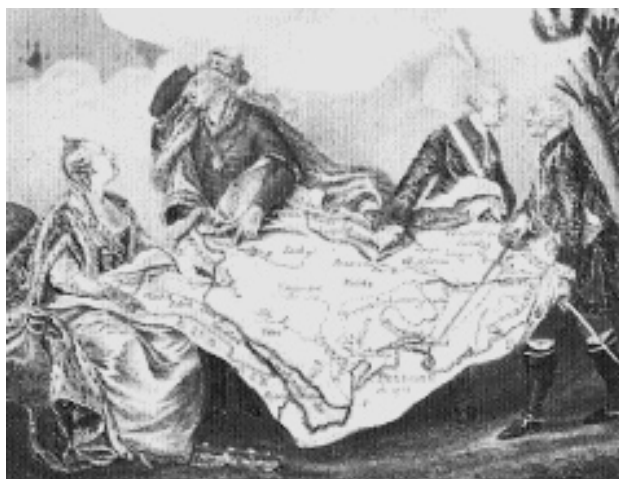
【I】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

仙台藩医の工藤平助は、老中田沼意次に『赤蝦夷風説考』を献上し、蝦夷（現北海道）の開発と赤蝦夷（ロシア）との交易論を展開した。この背景には、ロシア帝国による日本周辺への進出があった。すでにロシア帝国は、積極的にシベリア方面への東方進出を強め、17世紀末には中国と（ 1 ）条約を締結し、両国の国境線を定めていた。18世紀後半のロシアの（ア）エカチェリーナ2世は、大黒屋光太夫など日本人漂流民とともに（ 2 ）を日本に派遣し、ロシアと日本の通商を求めた。ときの江戸幕府では田沼意次失脚後に老中となっていた松平定信が、ロシアとの通商は許さず、長崎への入港のみを認めた。江戸幕府は、1641年に平戸の（ 3 ）商館を長崎出島に移して以降、（ 3 ）以外のヨーロッパの国が長崎へ入港することを許していなかった。長崎への入港許可書を得た（ 2 ）は、長崎に向かわずロシアに帰国した。その後、（ 2 ）が得た入港許可書をもち、レザノフが長崎に来訪したが、「鎖国」は「祖法の法」であるとして一切の交渉に応じず、レザノフは帰国せざるを得なかった。この日本側の扱いに反発したレザノフは、部下のフヴォストフに利尻島などの略奪を命じた。これが時の元号である「文化（1804～1818）」から「文化露寇」と呼ばれる事件である。ロシアの略奪を許した「文化露寇」によって幕府の威信は傷つけられ、幕府は、北方の国防の重要性を鑑み、全蝦夷地を一時幕府の天領、直轄地とした。この「文化露寇」自体は、時のロシア皇帝（ 4 ）の正式な命を受けたものでなかったため、ロシアは撤退し、収束した。その後、幕府の対外政策は強硬策と懐柔策を右往左往し、この「文化露寇」から約50年後にロシアではなく、アメリカ合衆国のペリーが三浦半島の浦賀に來航し、翌年の1854年にアメリカ合衆国との間で（ 5 ）が締結され、「祖法の法」である「鎖国」が事実上終結し、（イ）日本は開国した。この時期になるとアジア諸国へのヨーロッパ諸国の進出はより激しくなり、日本をはじめとして（ウ）清朝などアジア諸国は「西洋の衝撃」にいかに対応するか苦渋の決断を迫られることになった。この激動の時期に日本では、江戸幕府が滅亡して（エ）明治新政府が樹立され、近代化を推し進めた。また、1875年には（ 6 ）となる国境条約を締結し、隣国ロシアとの境界を定めた。

問1. 空欄（ 1 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄1にマークしなさい。

（A）イリ （B）アイグン （C）キャフタ （D）ネルチンスク

問2. 次の図は、下線部（ア）の人物が関わったある国の分割を描いた風刺画である。その国の名と分割に関わった下線部（ア）以外の人物の名の組合せとして最も適切なものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄2にマークしなさい。



- （A）ポーランド － プロイセン王フリードリヒ2世
- （B）ポーランド － 神聖ローマ皇帝カール5世
- （C）ユーゴスラヴィア － プロイセン王フリードリヒ2世
- （D）ユーゴスラヴィア － 神聖ローマ皇帝カール5世

問3. 空欄（ 2 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄3にマークしなさい。

- （A）イエルマーク （B）ラクスマン （C）ベーリング （D）プチャーチン

問4. 空欄（ 3 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄4にマークしなさい。

- （A）ポルトガル （B）フランス （C）オランダ （D）イギリス

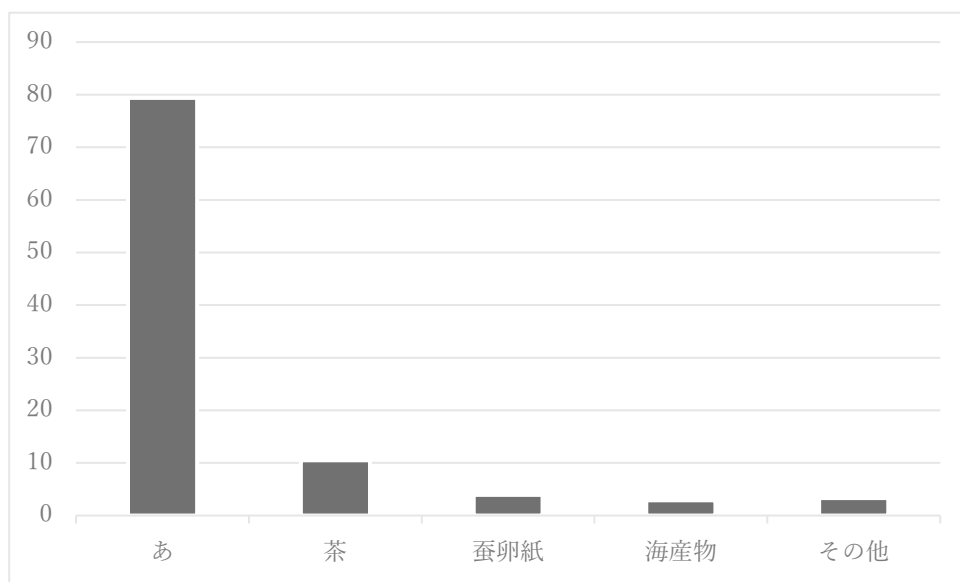
問5. 空欄（ 4 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄5にマークしなさい。

- （A）アレクサンドル1世 （B）ニコライ1世 （C）アレクサンドル2世
- （D）ニコライ2世

問6. 空欄（ 5 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄6にマークしなさい。

- （A）日米修好通商条約 （B）日米和親条約 （C）日米安全保障条約
- （D）日米通商航海条約

問 7. 下線部（イ）に関連して、次のグラフは、開国後の 1865 年における日本の輸出品の割合を示したものである。グラフのあにあてはまる最も適当な語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 7 にマークしなさい。



（A）生糸 （B）毛織物 （C）船舶 （D）ライフル銃

問 8. 下線部（ウ）に関連して、アヘン戦争に敗北した清朝が、1842 年に締結した南京条約の内容について述べた文として最も適当なものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄 8 にマークしなさい。

- （A）香港島をイギリスに割譲した。
- （B）アヘン貿易を公認した。
- （C）天津を開港した。
- （D）総理各国事務衙門（総理衙門）を設置した。

問 9. 下線部（エ）に関連して、明治時代に起こった出来事を、年代の古いものから順に並べたものとして最も適当なものを、次の（A）～（D）より選び、解答欄 9 にマークしなさい。

- （A）大日本帝国憲法の発布⇒廃藩置県の実施⇒西南戦争の勃発
- （B）廃藩置県の実施⇒大日本帝国憲法の発布⇒西南戦争の勃発
- （C）廃藩置県の実施⇒西南戦争の勃発⇒大日本帝国憲法の発布
- （D）西南戦争の勃発⇒廃藩置県の実施⇒大日本帝国憲法の発布

問 10. 空欄（ 6 ）にあてはまる語句を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- （A）ウルップ島以北の千島列島がロシア領、樺太（サハリン）全島が日本領
- （B）ウルップ島以北の千島列島が日本領、樺太（サハリン）全島がロシア領
- （C）ウルップ島以北の千島列島と樺太（サハリン）南部が、ロシア領
- （D）ウルップ島以北の千島列島と樺太（サハリン）南部が、日本領

【Ⅱ】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

（ア）後漢後期になると、外戚と（イ）宦官が政権をめぐって争ったり、（ウ）豪族出身の官僚が宦官と対立するなどして、国政は徐々に乱れていった。やがて、張角らは太平道と呼ばれる宗教を創始し、困窮した農民が彼の元へ集まり、184 年に（ 1 ）の乱を起こした。この反乱は何とか鎮圧されたが、朝廷の軍勢だけでは鎮圧できず、各地の豪族の力を借りたため、豪族が軍閥化し、群雄割拠の状態となった。その後、群雄の一人である（ 2 ）が朝廷の実権を握り、華北を制圧し、魏王に封じられた。（ 2 ）の死後、子の曹丕が後漢の献帝より帝位を譲り受け、皇帝に即位し、漢は滅亡した。一方、群雄の一人である（ 3 ）は蜀、孫権は江南をそれぞれ制圧し、漢の滅亡後は両者も皇帝に即位し、魏・呉・（エ）蜀の三国鼎立状態となった。

魏の朝廷内では司馬氏が実権を握り、やがて蜀を滅ぼした。そして、（ 4 ）（後の武帝）は魏の元帝から帝位を譲り受けて皇帝となり、晋を建国した（西晋）。280 年には呉を滅ぼし、天下を統一した。統一後、武帝は国政を顧みなくなり、死後には八王の乱が起こり、西晋は衰退していった。やがて、西晋に服属していた匈奴が独立し、316 年に西晋は滅亡した。南方では西晋の皇族司馬睿が（ 5 ）を中心に王朝を存続させた（東晋）。一方、北方では（オ）五胡と呼ばれる非漢人がさまざまな王朝を樹立したが、いずれも短命に終わり、混乱を極めた。

問 11. 下線部（ア）の初代皇帝を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 11 にマークしなさい。

- （A）劉向 （B）劉禪 （C）劉安 （D）劉秀

問 12. 下線部（イ）のうち、後漢中期に製紙法を改良した者を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 12 にマークしなさい。

- （A）曹騰 （B）魏忠賢 （C）蔡倫 （D）高力士

問 13. 下線部（ウ）について、実際に宦官が一部の官僚や知識人を弾圧した事件を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 13 にマークしなさい。

- （A）玄武門の変 （B）禁門の変 （C）永嘉の乱 （D）党錮の禁

問 14. 空欄（ 1 ）にあてはまる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 14 にマークしなさい。

- （A）東学党 （B）壬申 （C）黄巾 （D）方臘

問 15. 空欄（ 2 ）にあてはまる人名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 15 にマークしなさい。

- （A）曹洪 （B）曹彪 （C）曹仁 （D）曹操

問 16. 空欄（ 3 ）にあてはまる人名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 16 にマークしなさい。

- （A）馬超 （B）袁紹 （C）公孫瓚 （D）劉備

問 17. 下線部（エ）の首都が置かれた都市を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 17 にマークしなさい。

- （A）咸陽 （B）開封 （C）武昌 （D）成都

問 18. 空欄（ 4 ）にあてはまる人名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 18 にマークしなさい。

- （A）司馬懿 （B）司馬炎 （C）司馬相如 （D）司馬昭

問 19. 空欄（ 5 ）にあてはまる都市を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 19 にマークしなさい。

- （A）建康 （B）上海 （C）寧波 （D）臨安

問 20. 下線部（オ）に含まれない民族名を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 20 にマークしなさい。

- （A）鮮卑 （B）匈奴 （C）契丹 （D）羯

【Ⅲ】次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

(ア) ゲルマン人の大移動によって、西ヨーロッパ世界は政治的に分裂し、各地に多数の王国が成立した。そのなかで最も重要な地位を占めたのがフランク王国である。5世紀末、メロヴィング家の(1)はガリア地方の諸部族を統一し、フランク王国を建国した。彼は(2)派キリスト教に改宗してガリアのローマ系住民や教会の支持を得、王権を安定させた。この改宗は、ゲルマン人国家がローマ文化圏と融合する大きな契機となった。

しかし、メロヴィング朝では分割相続が続き、王国はたびたび分裂した。次第に(3)が実権を握るようになり、8世紀前半にはカロリング家のカール＝マルテルが(3)として権力を掌握した。カール＝マルテルは732年、(4)の戦いで(イ) イスラーム勢力を撃退し、西ヨーロッパへのイスラーム勢力の進出を食い止めたことで知られる。彼は戦士たちに教会領を恩賞として与え、後の封建的主従関係の原型をつくったとも言われる。

その子(5)はローマ教皇ザカリアスの支援を得て王位につき、メロヴィング朝を終わらせてカロリング朝を創始した。ピピンはランゴバルド王国との戦いに勝利し、奪った(6)地方を教皇に寄進した。これによりローマ教皇領が成立し、教皇は世俗領主としての地位を得た。こうしてフランク王国とローマ教皇は密接な関係を結び、西ヨーロッパの政治秩序の基礎が固められた。

(5)の子カール大帝は王位を継ぐと領土をさらに拡張し、西はイベリア半島北部、東はザクセンやバイエルンにまで及ぶ広大な帝国を築き上げた。彼は地方行政区を整備し、巡察使を派遣して地方統治を監督するなど中央集権的支配を目指した。また、学芸の復興を奨励し、いわゆる(ウ) カロリング＝ルネサンスと呼ばれる文化的活況をもたらした。800年、ローマ教皇(7)はカールにローマ皇帝の冠を授け、西ヨーロッパ世界に新たな統一の象徴が誕生したのである。

問 21. 下線部(ア)について述べた文として最も適切なものを、次の(A)～(D)より選び、解答欄 21 にマークしなさい。

- (A) 西ゴート人はブリテン島に移動して王国を建て、のちにアーサー王伝説の基盤となった。
- (B) 東ゴート人は最初からイタリア半島に定住しており、移動はほとんど行わなかった。
- (C) アングロ＝サクソン人はイベリア半島へ移住し、イスラーム勢力と同じ地域に共存した。
- (D) ヴァンダル人は北アフリカに渡って王国を建て、地中海の制海権を握った。

問 22. 空欄(1)に入る最もふさわしいと思われる語を、次の(A)～(D)より選び、解答欄 22 にマークしなさい。

- (A) ネロ (B) クローヴィス (C) アッティラ (D) アラリック

問 23. 空欄（ 2 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 23 にマークしなさい。

（A）アルビジョワ （B）アタナシウス （C）アリウス （D）ネストリウス

問 24. 空欄（ 3 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 24 にマークしなさい。

（A）宮宰 （B）アミール （C）伯 （D）コンスル

問 25. 空欄（ 4 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 25 にマークしなさい。

（A）トゥール・ポワティエ間 （B）カタラウヌム （C）トイトブルク
（D）ニハーヴァンド

問 26. 下線部（イ）に関連して、この時のイスラーム王朝について述べた次の文 X・Y の正誤の組み合わせとして正しいものを、以下の（A）～（D）から 1 つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

X ダマスクスを都とし、アラブ人と非アラブ人を平等に扱った。

Y アッバース朝の後に成立し、サライを都として繁栄した。

（A）X－正 Y－正 （B）X－誤 Y－正 （C）X－正 Y－誤
（D）X－誤 Y－誤

問 27. 空欄（ 5 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 27 にマークしなさい。

（A）オドアケル （B）テオドリック （C）ピピン （D）レオン 3 世

問 28. 空欄（ 6 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 28 にマークしなさい。

（A）ラヴェンナ （B）トスカーナ （C）ロンバルディア （D）南チロル

問 29. 下線部（ウ）について述べた次の文 X・Y の正誤の組み合わせとして正しいものを、以下の（A）～（D）から 1 つ選び、解答欄 29 にマークしなさい。

X ペトラルカなどをはじめとする人文主義者が活躍した。

Y アルクインらの学者を招き、ラテン語による文芸復興が起こった。

（A）X－正 Y－正 （B）X－誤 Y－正 （C）X－正 Y－誤
（D）X－誤 Y－誤

問 30. 空欄（ 7 ）に入る最もふさわしいと思われる語を、次の（A）～（D）より選び、解答欄 30 にマークしなさい。

- （A）ウルバヌス 2 世 （B）ボニファティウス 8 世 （C）グレゴリウス 1 世
（D）レオ 3 世